

ブルネルとシェイクスピアの「驚きの島々」 — ロンドンオリンピックの開会式での演出を読み解く —

主催：日本機械学会 （企画：技術と社会部門 ブルネル・スピリット研究会）

後援：日英協会・英国大使館・千葉大学

あなたは、ブルネルを知っていますか？

オリンピックの開会式にブルネルが登場した意味は？ シェイクスピアの「驚きの島々」とは？

◆今年2012年7月27日に行なわれたロンドン・オリンピックの開会式では、“The Isles of Wonder”「驚きの島々」と題した、英国の歴史を象徴的・幻想的に描いた絢爛たるスペクタクルが演じられました。◆この式典には、偉大な英国人としてチャーチルに次ぐ人気を誇る、19世紀に活躍したエンジニアのイザムバード・キングダム・ブルネル（1806～1859）に扮した俳優が登場し（写真）、「怖がることはない。島は雑音でいっぱいさ」という、シェイクスピア劇『テンペスト』の一節を朗読しま



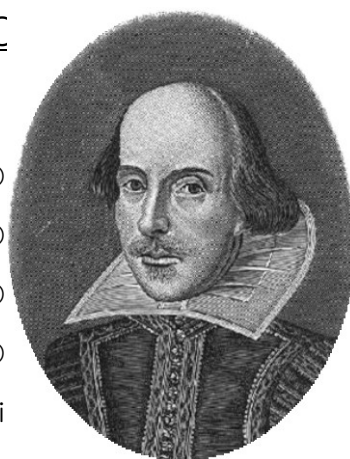
した。◆この講演会では、千葉大学でブルネルの技術史を研究する佐藤建吉とシェイクスピア演劇を研究する篠崎実が、英国のブルネル大学からのゲストも迎え、ブルネルとシェイクスピアを取り上げられたこのスペクタクルを読み解きます。◆ブルネルは53年の短い生涯に、未来を先取りした多くの技術開発を挑戦的に行いました（裏面参照）。現代社会は、多くの課題を抱えています、ブルネルの挑戦心を知ることは、その解決のための勇気を、私たちに、与えてくれることでしょう。



オリンピックベル

on/from-to Fri. 26. Oct 2012/18:30-20:30
at 日比谷図書文化館/大ホール

- オープニング/18:30～18:40
Kevin Knappett (英国大使館/科学技術部長)
- ブルネルってどんな人/18:40～19:10
佐藤建吉 (ブルネル・スピリット研究会/千葉大学准教授)
- シェイクスピアとの関わり/19:10～19:30
篠崎実 (英文学者/千葉大学教授)
- ゲストスピーチ/19:30～19:40
Tadeusz Stolarski (機械工学者/ブルネル大学名誉教授)
- トークセッション/19:40～20:10
佐藤建吉 vs 篠崎実 vs Tadeusz Stolarski
- ディスカッション/20:10～20:25 (全員)
- クロージング/20:25～20:30
工藤章 (オリンピック・パラリンピック招致支援副委員長)



William Shakespeare
(1564-1616)

お問い合わせ

佐藤 建吉
(ブルネル・スピリット研究会)
E-mail:
brunel.spirit@gmail.com
TEL: 043-290-3215
FAX: 043-290-3215
[http://www.jsme.or.jp/
event/event.php](http://www.jsme.or.jp/event/event.php)

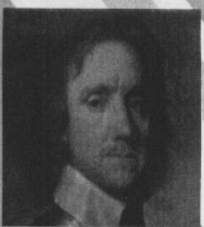
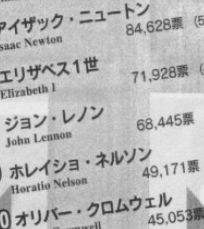
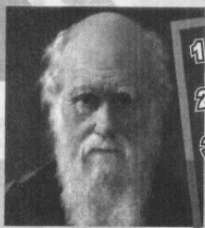
参加費

日本機械学会
会員：1000 円
学生員：無料
一般：1500 円
学生：500 円
当日、会場の受付で
お支払い下さい。



知ってそうで知らない

BBC 「偉大な英国人」を大紹介! GREAT BRITONS



1	ウィンストン・チャーチル Winston Churchill	456,498票 (28.1%)
2	イザムバード・キングダム・ブルネル Isambard Kingdom Brunel	398,526票 (24.6%)
3	ダイアナ・スペンサー Diana Spencer	225,584票 (13.9%)
4	チャールズ・ダーウィン Charles Darwin	112,496票 (6.9%)
5	ウィリアム・シェークスピア William Shakespeare	109,919票 (6.8%)
6	アイザック・ニュートン Isaac Newton	84,628票 (5.2%)
7	エリザベス1世 Elizabeth I	71,928票 (4.4%)
8	ジョン・レノン John Lennon	68,445票 (4.2%)
9	ホレイシヨ・ネルソン Horatio Nelson	49,171票 (3.0%)
10	オリバー・クロムウェル Oliver Cromwell	45,053票 (2.8%)

©The National Portrait Gallery (チャーチル、ダイアナ、レノン以外)、©Imperial War Museum (チャーチル)、©Yoko Ono - Photographer, Peter Forthman (レノン)

「GREAT BRITONS」

BBC2で昨年10月後半から1カ月間にわたり放送された番組。英国人3万人を対象にしたアンケート調査であらかじめ選ばれた「偉大な英国人100人」を紹介するとともに、上位10人についてそれぞれ人物紹介のドキュメンタリー番組を放送。同時に、視聴者から電話と電子メールによる投票を受け付け、最終的なトップテンを決定した。
www.bbc.co.uk/history/programmes/greatbritons

歴史上、最も偉大な英国人は誰? こんな壮大な疑問を元にした番組だが、昨秋BBCで放送された「GREAT BRITONS」の、なんと100万人を超える視聴者の投票によって、英国人が「ヒーロー」とあがめる上位10人のランキングが決定した。今回の特徴は、この10人のプロフィールと功績を一挙紹介、日本人によく知られた面々、でも意外に忘れていた人も多いはず。ここに、一気に復習しましょか?

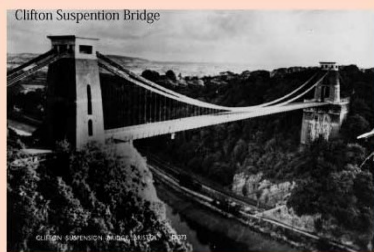
(吉川万理雄、アナン・ディレイ)

“Darwin told us where we came from, but it was Brunel who took us where we wanted to go.”

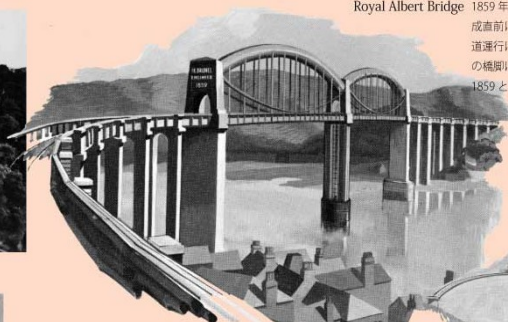
Isambard Kingdom Brunel
(1806-1859)

Kenneth Branagh
who played the role of Brunel

道をつなぐ、路を交差する。安全により広いコミュニケーションを現実にする独創の橋梁技術。



ブルネル 24 才の時、デザインコンペで優勝したクリフトン吊橋



Royal Albert Bridge 1859 年ブルネルはこの橋の完成直前に亡くなった。現在も鉄道運行に使用されているこの橋の橋脚には、Isambard Brunel Engineer 1859 と掲げられている。

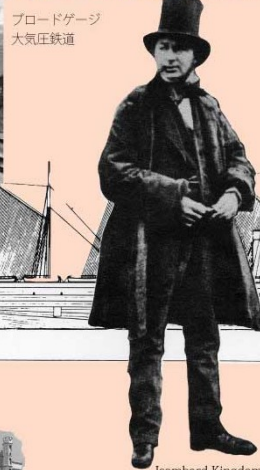
GWR Box Tunnel



Great Western Railway

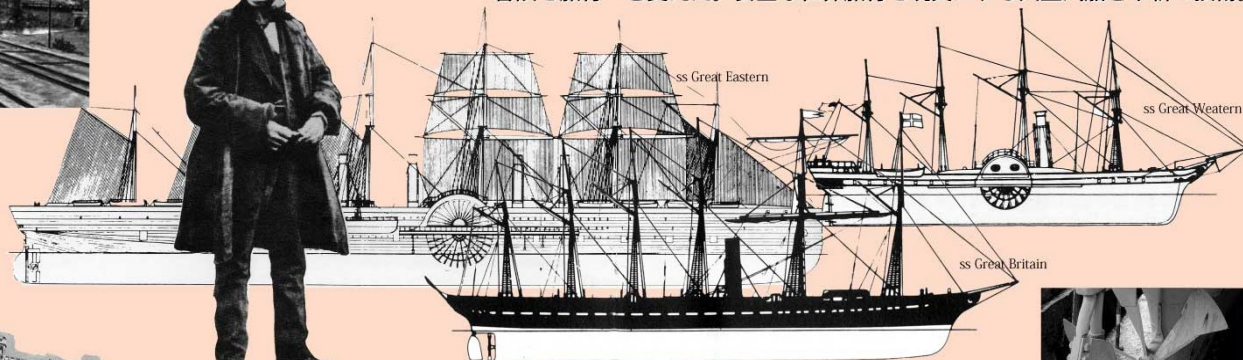


Temple Meads Station



Isambard Kingdom Brunel

冒険を旅行へと変えた。安全な世界旅行を現実にする大型汽船と革新の技術。



鋼鉄の船体、スクリューによる推進を実現し世界の海を航海した ss Great Britain. 日本は江戸時代、黒船来航の 10 年前に進水した。(1843 年)

ブルネルのチャレンジスピリットが、いま日本に夢と活力を与える。

ss Great Britain



1970 年フォークランド島から回収、修復し展示されている ss Great Britain: プリストル

